

かわらばん

H22年度 第2号 PTA会長 林 大蔵 PTA編集部

第2号では、5月に行なわれた3つの行事について掲載致します。

給食試食

5月18日に、1年生保護者の出席を中心に、給食試食会が行われました。
(参加人数…33名[内23名は1年生保護者])

栄養士の伊村先生より給食についてのお話があり、ビデオ鑑賞後に試食をしました。

今日の献立

ミルク
もぶりごはん
かきたま汁
冷凍みかん

☆今日の献立について

広島県の郷土料理「もぶりごはん」

『もぶる』とは広島弁で『混ぜる』という意味だそうで、
ごはんの上に具をかけて、混ぜて食べます。

参加された保護者の皆さん！

かきたま汁や冷凍みかんも、とても懐かしくおいしく
食べられたのではないのでしょうか？

☆給食について

- ・現在、620名分を6名の調理員で、自校で調理しています。
- ・家庭で摂取しにくく欠乏しやすい栄養素は、給食で充足するよう努めています。
- ・毎月19日を「食育の日」に設定しています。
- ・中華そばやスパゲティは残ることがほとんどないぐらい人気です。



☆ビデオ鑑賞

- ・野菜の皮むきはすべて手作業！水そうで3回も洗います。
- ・味噌汁のだしは”いりこ”から、ラーメンのだしは”鶏がら”から、カレーやシチューのルーまで小麦粉から作ります。
大きなお鍋・大きなしゃもじで、全身を使ってとても大変です。
- ・果物を除き、すべて加熱調理。仕上げの温度も確認しています。

★参加保護者の感想★

- ・給食を作っている様子が分かり、細かな配慮を感じました。
- ・色々な食材を使って、おいしく作ってくださっているなと感じました。
- ・大変参考になり、家での食事今まで以上に頑張りたいと思いました。
- ・家以上に愛情を持って作っていただいた給食は大変おいしかった。
- ・ルーやだしを一から作っていらっしゃることに驚いた。



救命救急講習会

5月7日(金)

- ・対 象 全学年 教職員 保護者(希望者)
- ・参加人数 約40名
- ・講 師 日本赤十字社 広島県支部 阿部さん、水無瀬さん

救命救急講習会の内容

- ・心肺蘇生法の実習(3人1組で実施)
周囲の確認→意識の確認→応援(119番通報・AED)の手配→
→気道確保→人工呼吸→胸骨圧迫→AED使用

プール当番時の心得

1. 子どもの蘇生法、AEDの使用方法を把握しておく。
2. 異変を感じた児童を、しっかり観察し声をかける。

参加者の感想

- ・実際にやってみると力が必要だった。
- ・行う時の姿勢が大事だと思った。
- ・本当に出来るか不安…。
- ・今回実際にしてみても、もし今後このような場面にでくわしたときに、慌てないで行動が出来るかもしれない、役に立った。



自己防衛プログラム

5月24日(月)

国泰寺中学校区少年補導協助員のみなさん、鷹の橋交番勤務警官の山本さんのご協力のもと、教育部による被害防止をテーマにした寸劇がおこなわれました



パトカー登場の場面で子ども達はとても盛り上がり、最後まで熱心にみていました



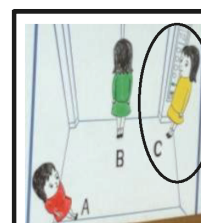
そして熱演してくださったばかりの山本さん、広島中央警察署の岡原育成官からおはなしがありました
最近の実例から、「お母さんが病気だから病院に行こう」と声をかけられ、「お父さんに連絡を取ってみます」と断った子どものことをあげ、良い参考になる対応として紹介していただきました



いかに知らないひとについていかない
の知らないひとのくるまにのらない
おなにかあったらおきなこえをだす
すなにかあったらすぐにげる
しおとなのひとにしらせる

家に帰るときは

- ・カギを開けて入るところは人に見られないようにする
- ・カギは見えないように持ち歩く
- ・家には人がいるように見せる



エレベーターでは、乗降ボタンの近くに乗る